

令和元年度由布市湯布院地区交通社会実験

仕様書

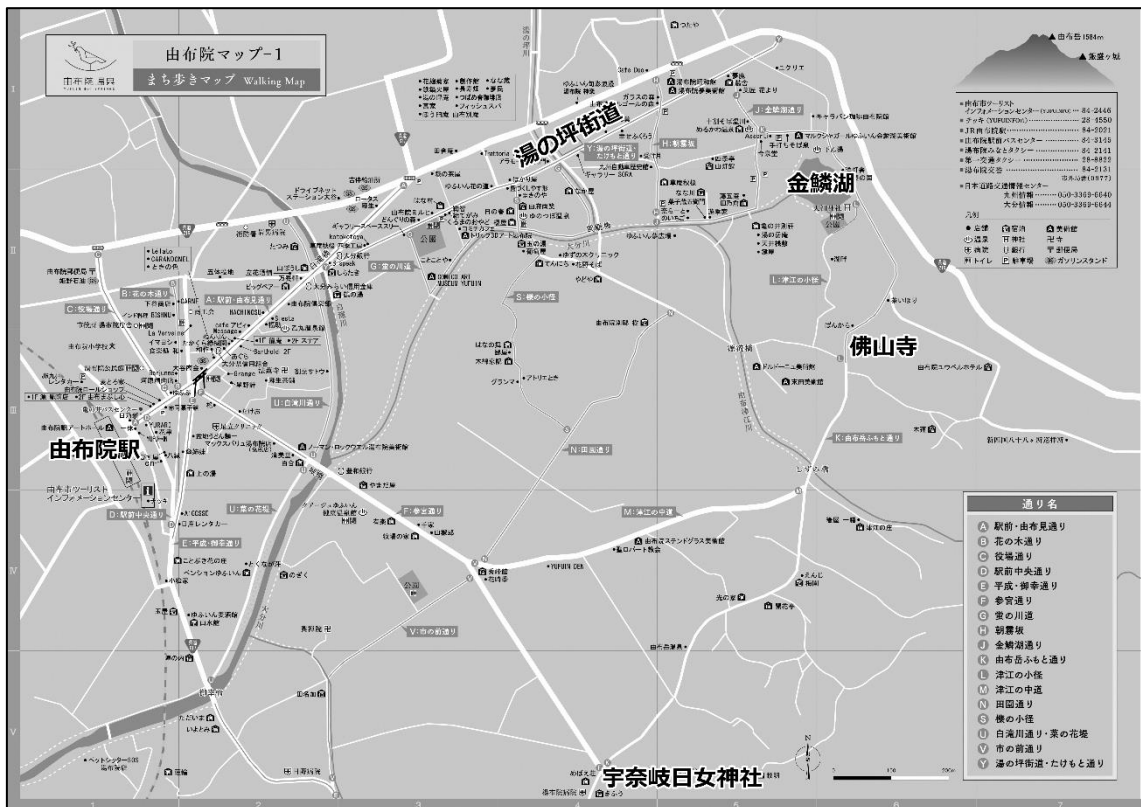
1. 業務目的

本事業は、現在、本市が進めている社会資本総合整備計画「由布市（滞在型・循環型保養温泉地）再構築計画」の効果促進事業であり、由布院盆地内の交通渋滞の緩和を目的とし、人や自転車を中心とした遅い交通による盆地内のアクティビティの拡大とモビリティ環境の向上を図ることで、社会資本総合整備計画における計画目標の実現と効果の促進を目指した交通社会実験の円滑な実施及び実験結果の検証による今後の盆地内の二次交通サービスの方向性を示すことである。

具体的には、盆地内の二次交通として普通自転車のほか、様々な身体状況に対応した新たなレンタサイクルの需要の可能性と走行環境の安全性や快適性の実証実験を行うものである。

2. 業務対象地域

JR 由布院駅周辺、金鱗湖周辺、湯の坪街道を含むおおむね下図の範囲を対象とする。



※（一社）由布院温泉観光協会「由布院マップ」引用

3. 業務期間

契約締結日から令和2年3月27日（金）まで

4. 業務内容（交通社会実験について）

(1) 交通社会実験の目的

『歩いて楽しいまちを目指して…』をキャッチフレーズに行われた交通社会実験（平成14年11月実施）は、市街地内に流入する自動車を抑制するため、①中心部へ流入する観光自動車を減らす実験（パーク&バスライド、パーク&レールライド、周辺田園地区に無料駐車場設置）、②中心部の観光自動車の無駄な動きを減らす実験（駐車場予約システム、観光バス乗降システム）及び③歩いて楽しいみちをつくる実験（観光自動車の乗入制限、レンタサイクル）が行われた。とても大規模な交通社会実験であり、多くの市民がボランティアスタッフとして参画した実験となった。

そして、今年度実施する交通社会実験では、平成14年度の『歩いて楽しいまちを目指して…』という基本理念は継承するものとし、自動車（マイカー）で訪れる観光客へのアプローチ（観光自動車の市街地流入抑制）から、公共交通への利用者の増加（市街地内の2次交通の充実）に重点を置いた施策内容とする。

具体的には、公共交通（電車、高速バス等）で訪れる人が、徒歩または自転車、辻馬車などの遅い交通モードで、ゆったり、落ち着いてまちなかを楽しんでいただけること。さらには、モビリティ環境を創出するとともに、足腰の弱いお年寄りや身体に障がいがある人であっても、それぞれの身体能力に適した乗り物でまちなかを散策できる『誰もが歩いて楽しめるまち』を目指した交通社会実験とする。

(2) 交通社会実験のねらい

レンタサイクルの拡充、自転車走行環境の創出により次の3つを目的とする。

- 1) まちなかの移動手段の充実により、マイカーでの来訪から公共交通利用への転換を促す。
- 2) まちなかでのマイカー移動（うろつき交通）の抑制により、歩行者等の道路環境の向上を図る。
- 3) それぞれの身体能力に適した移動手段の提供により、多くの人が歩いて楽しむことができる。

(3) 実験メニュー

(ア) レンタサイクルのサービス拡充実験

① 推奨サイクリングコースの設定

- ・ 由布院駅前から金鱗湖、湯の坪街道、佛山寺、宇奈岐日女神社などを巡り、安全で快適な田園地帯の推奨サイクリングコースを設定すること。
- ・ ただし、湯の坪街道は徒歩による観光客が非常に多く、快適な自転車での通行が適している状況ではなく、また、歩行者の安全性にも考慮して、サイクリングコースには設定しないこと。湯の坪街道への自転車での乗り入れを抑制し、自転車を停めて歩いて散策してもらえるように、コース設定及び駐輪場の確保を工夫すること。

②サイクリングマップの作成

- ・既存の「由布院マップ（まち歩きマップ・由布院盆地マップ）（日本語版・英語版・韓国語版）」と合わせて配布するサイクリング推奨ルートと駐輪場所の案内マップを作成すること。
- ・金鱗湖周辺や湯の坪街道では駐輪して徒歩での回遊を啓発する内容を記載すること。

③レンタサイクル利用方法、申込申請書の作成

- ・既存の「レンタサイクル利用規約（日本語版・英語版）」を基本として、新たな貸出しルール等の記載を検討し、内容を追加したものを作成すること。

④上記②、③の多言語（英語、中国語、韓国語）対応

- ・②のサイクリングマップ及び③のレンタサイクル利用方法、申込申請書は、英語、中国語、韓国語での利用に対応できるものとする。

⑤普通自転車の他に様々な身体状況に対応した乗物の購入及びレンタル

- ・普通自転車のような転倒の恐れが少なく、安全で楽に運転することができること、観光客が利用しやすくなること、由布院盆地の景観にも馴染むことなど、これらの条件を概ね満たす3輪以上の電動アシスト付き自転車等を用意すること（購入またはレンタル）。
- ・準備する台数は観光客のグループでの利用を想定して4台以上とすること。
- ・なお、①の推奨サイクリングコースの設定の検討の際に、安全性の確認も含めて必ず実車での走行検討を行うこと。

(イ) 自転車走行環境の創出実験

①推奨サイクリングコースの誘導案内

- ・推奨サイクリングコース（概ね3～4km程度）上に、コースの誘導案内対策としてマップを見なくても安心してコースを散策できるように、現地にも適切な間隔で誘導案内を行うこと。
- ・ただし、実験後の本格実施も視野に入れて由布院盆地の景観にも配慮すること。
- ・誘導案内の方法、デザイン、色、大きさ等は、本業務で検討し提案すること。

②推奨サイクリングコース上に駐輪場の確保・案内

- ・推奨サイクリングコース上の主要な観光施設や公園などの公共施設に仮設駐輪場を確保すること。
- ・収容台数は10台/箇所程度とし、6箇所程度確保すること。
- ・特に湯の坪街道や金鱗湖周辺では、自転車を停めて徒歩での散策を促しやすい場所に駐輪場を確保すること。
- ・駐輪場は施設管理者と調整の上、のぼり旗などで案内を行うこと。

(4) 観光動態調査の実施

- ・レンタサイクル利用者に対して、以下の主な調査事項を含むアンケート等を実施すること。
- ・実験前と実験中の観光動態の違いを検証するため、それぞれのサンプル数が概ね100以上となるように行うこと。

（主な調査事項）

- ①回答者の属性
- ②由布院盆地までの交通手段
- ③由布院盆地での宿泊の有無

- ④レンタサイクルの利用時間
- ⑤立ち寄り先
- ⑥ルート など

(5) 実験期間

- ・実験期間は、ラグビーワールドカップ 2019 開催期間とも重なる 10 月を含めた 4 週間とする。ただし、実験メニューの効果を観光動態調査により検証するため、以下のように前半、後半に分けて観光動態調査を行うこと。
- ・前半 2 週間は、現況のままで観光動態調査のみ行うこと。
- ・後半 2 週間は、(2) の実験メニューに示したサービスをすべて提供した状況で観光動態調査を行うこと。

5. 成果品

- 1) サイクリングマップ A3 両面フルカラー・折り加工 10,000 部
- 2) レンタサイクル利用方法 A3 片面モノクロ 3,000 部
- 3) 申込申請書 A4 片面モノクロ 3,000 部
- 4) 報告書 A4 簡易製本 5 部
- 5) 上記成果品デジタルデータ一式 CD-R 1 部